

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科	
科目名称	キャリア入門					授業形態		講義	
科目コード	160001	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山田 裕司								
授業概要	<p>若者にとって、学校から職場への移行が大きな課題になっています。具体的には、ニート、フリーターの増加、新卒者の早期離職（いわゆる「七五三」問題）などです。その背景には、現代の若者が社会に出る前に、自分の能力についての理解や、自分と社会との関わりなどを十分に把握していないことが原因のひとつと考えられています。このような背景の下、将来の社会を担う子どもたちに対して、「働くこと」への関心・意欲の向上を図ることや、自己と他者・社会との関係性を構築する力、自立する意識を養うことを通じて、豊かな人間性を育てていくことが求められています。</p> <p>キャリア入門では、将来、子どもたちにかかわる仕事に就く皆さんに、豊かな人間性を育てるキャリア教育をコーディネートする力を身に付けていただくことを教育目標としています。学校にて取り組んでいるキャリア教育の実践を体験することで、「キャリア教育とは？」、「キャリア教育の必要性」について学んでいきます。</p>								
関連する科目	キャリアデザイン、子どもと地域、子ども支援地域活動Ⅰ・Ⅱ								
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠（子どもの発達段階の特徴など）」について講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションや課題解決・探求学習等にて、前半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。</p>								
授業計画 【第1回】	(1) ガイダンス、課題解決学習PBL概論 課題解決学習、プレゼンテーション等の教育方法について説明します。								
授業計画 【第2回】	(2) キャリアの振り返り 各自のキャリアを学校教育段階別に振り返り、自分という存在を再認識します								
授業計画 【第3回】	(3) 教育を取り巻く課題-幼稚園・保育園の現状 保育・幼児教育を取り巻く教育的課題を題材として、課題の所在や解決に向けた提案を検討します。								
授業計画 【第4回】	(4) グループ活動（情報収集）-中間発表の資料作成。 保育・幼児教育を取り巻く教育的課題を題材として、課題の所在や解決に向けた提案を検討します。								
授業計画 【第5回】	(5) グループ活動（プレゼン資料作成）-最終発表の資料作成。 保育・幼児教育を取り巻く教育的課題を題材として、課題の所在や解決に向けた提案を検討します。								
授業計画 【第6回】	(6) プレゼンテーショングループでまとめた解決策をプレゼン。 保育・幼児教育を取り巻く教育的課題を題材として、課題の所在や解決に向けた提案を検討します。								
授業計画 【第7回】	(7) 前半の振り返り-自己評価&グループ内評価を通して、振り返りを行う。 グループワークを振り返り、情報収集や資料の作成、プレゼンについての自己評価を行います。								
授業計画 【第8回】	(8) キャリア教育の現状 小学校及び学校教育におけるキャリア教育・進路指導・職業教育について学びます。								
授業計画 【第9回】	(9) 教育を取り巻く課題-小学校の現状についてグループ協議し、課題を設定する。 小学校を取り巻く教育的課題を題材として、課題の所在や解決に向けた提案を検討します。								
授業計画 【第10回】	(10) グループ活動（情報収集）-課題の解決策の作成に向けて、必要な資料を収集・分析する。 小学校を取り巻く教育的課題を題材として、課題の所在や解決に向けた提案を検討します。								
授業計画 【第11回】	(11) グループ活動（プレゼン資料作成）-最終発表の資料作成。 小学校を取り巻く教育的課題を題材として、課題の所在や解決に向けた提案を検討します。								

授業計画 【第12回】	(12) プレゼンテーショングループでまとめた解決策をプレゼン。 小学校を取り巻く教育的課題を題材として、課題の所在や解決に向けた提案を検討します。
授業計画 【第13回】	(13) 後半の振り返り-自己評価&グループ内評価を通して、振り返りを行う。全体の振り返り。 グループワークを振り返り、情報収集や資料の作成、プレゼンについての自己評価を行います。
授業計画 【第14回】	(14) 進路選択と職業選択 学校教育の即時的効果、遅延的效果を踏まえて、学校教育段階卒業後の学びについて学習します。
授業計画 【第15回】	(15) 学校教育修了後の学び-生涯学習、リカレント教育 学校教育の即時的効果、遅延的效果を踏まえて、学校教育段階卒業後の学びについて学習します。
授業の到達目標	キャリア教育の実践に取り組むことにより、以下の資質・能力を高めます。 (1) 学校と企業・地域をつなぐキャリア教育コーディネート力の育成【技能】 (2) グループワークを通して、主体性・柔軟性、コミュニケーション能力の育成【意欲】 (3) 自己評価、省察する能力の育成【思考】
学位授与の方針 (DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示します。次の授業までに確認してください。 また、授業後には、授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。
授業時間外の学修 【復習】	授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示します。次の授業までに確認してください。 また、授業後には、授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。
課題に対する フィードバック	小テスト、レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲（授業中）-50点 2) 小テスト及びレポート-20点 3) 最終試験-30点
テキスト	必要に応じて授業中に指示します。 授業では下記参考資料をもとに授業を展開しますので、各自授業前には読んでおくようにしてください。
参考書	経済産業省『キャリア教育ガイドブック-学校と企業・地域をつなぐキャリア教育コーディネート』 学事出版株式会社、(1,900円) 文部科学省国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 『変わる! キャリア教育:小・中・高等学校までの一貫した推進のために』 出版社: ミネルヴァ書房 (2016/8/25) 発売日: 2016年8月25日
備考	